

HELICS 協議会  
2010年度事業計画書

1. 標準化指針の審査：申請のあった標準案について、他の内外の規格との整合性、一貫性、また当該標準案の完成度、維持体制などについて審議し、目的ごとに使用すべき標準規格を採択し、「医療情報標準化指針」を策定する（審査委員会）。

各団体からの申請以外に、標準臨床検査項目コード、J-MIX（情報項目交換セット）、JJ1017指針（HIS-RIS-PACSモダリティ間情報連携指針）などについて申請可能かどうか各団体と協議し、可能であれば申請してもらい審議を進める。また、すでにHELICS規格となったものについても、更新などその後の運用に問題がないか検討する（標準化委員会）。

2. 標準化指針の更新：1年に一度すでに採択した標準化指針について、申請団体に1年に一度標準規格の検討を依頼し、必要に応じて更新申請を行うよう指導する（標準化委員会）。
3. 情報の提供：標準化の推進のための情報として「医療情報標準化レポート」を作成する。また、HELICS協議会のホームページを整備し、HELICS指針の解説や標準化レポートを掲載して、標準化活動の推進と啓蒙に努める（広報委員会）。
4. 標準化の普及を目的としてシンポジウム等の開催  
第8回HELICSシンポジウム（2010年5月17日）、第9回HELICSシンポジウム（2010年11月18日）を医療情報学会時に開催する。
5. HELICS協議会を説明するパンフレットを作成し、関連団体や学会で配布する。また、同時に入会案内も配布する（広報委員会）。
6. ISO TC215やIHE-J等の標準化推進規格団体との連携を強化する。
7. 年に数回、HELICSニュースを発行する（広報委員会）。
8. 標準化委員会を開催し、標準化の現状について調査するとともに、本協議会

の長期的な標準化方針の策定、標準規格の提案勧告などを行う。

9. 委員会の開催

(1) 標準化委員会 10回/年を予定。

(2) 広報委員会 10回/年を予定。

(3) 審査委員会 4－6回/年を予定。

(標準化指針が申請されたら開催)

2010年度(平成22年度)収支予算書 (2010.4.1~2011.3.31)

2010. 07. 06

(円)

1 収入の部

科 目	2010年度予算額	備考
1.財産運用収入	0	
2.会費収入		
正会員	200,000	5万円×4団体
幹事会員	600,000	10万円×6団体
3.事業収入	0	
4.雑収入	0	
小計	800,000	
前年度繰越金	3,632,293	
当期収入合計	4,432,293	

2 支出の部

科 目	2010年度予算額	備考
1.事業費		
シンポジウム	300,000	会場費、講師旅費など
標準化活動	200,000	会議費・旅費など
広報活動	800,000	会議費・旅費、HELICSニュース、パンフレット、HP
審査委員会	200,000	会議費・旅費など
2.管理費		
会議費	150,000	理事会・総会会場費
印刷費	30,000	
消耗品費	10,000	
通信運搬費	10,000	郵送料金・切手代等
交通費	200,000	理事会・総会旅費など
雑役務費	70,000	振込手数料、事務局経費
3.予備費	20,000	
小計	1,990,000	
次年度繰越金	2,442,293	
当期支出合計	4,432,293	